

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 067	提案機関名 農業技術センター 病害虫防除部
要望問題名 イチゴ栽培における殺ダニ剤アセキノシル水和剤のハダニ類防除における有効活用法の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 【主題】 施設イチゴ栽培ハダニ類防除において、薬害が起りにくいアセキノシル水和剤利用条件を検討。または、現在知られているアセキノシル水和剤によるイチゴ薬害と収量等について評価。これにより、施設イチゴ栽培におけるアセキノシル水和剤の有効利用と、ハダニ類防除体系における初歩的な抵抗性発達抑制害虫管理による有効殺ダニ剤の温存を図る。 【背景】 ・施設イチゴ栽培ハダニ類防除体系で利用されている殺ダニ剤のなかには、感受性低下個体群の出現により防除効果の低下が認められる薬剤が複数ある（H25年度防除部調査結果）。 ・県内ナミハダニ個体群に対するアセキノシル水和剤の殺成虫、殺卵活性は、非常に高いと認められる（H25年度防除部調査結果）。 ・アセキノシル水和剤は薬害発生の可能性から、利用を敬遠する生産者がいる。 ・一方で、アセキノシル水和剤を利用しても薬害を認めない生産者もいる（普及指導員の情報）。 ・アセキノシル水和剤を安心して利用できれば、当該剤をハダニ類防除体系に組み込むことができ、他の殺ダニ剤の利用機会を減らすことで、全体として薬剤感受性低下個体群の出現を遅延することができると考えられる。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部 病害虫研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 ご要望にありますとおり、アセキノシル水和剤はイチゴ栽培においてのハダニ対策に有効ですが、一方で薬害発生の可能性があることから、利用しない生産者が多いというのが実態です。 課題を設定する前に、薬害がどのような条件で発生するのか、メーカー、他県の状況等の情報を収集した上で判断させていただきます。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			